

1 教育政策の基本理念

現 行	次期（素案）	理由
<p>ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら ～自分もひと大切にし、地域を誇る人づくり～</p>	<p>ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら ～自分もひと大切にし、地域を誇る人づくり～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子高齢化、情報化、新型コロナウイルス感染症への対応など、社会情勢の急激な変化を背景に、子どもたちの育ちの支援や学びの保障、生涯学習の学びの機会の確保など、社会の変化に柔軟に対応できるようにするための教育政策はますます重要となっている。</li> <li>●本市では、未来を担う子どもたちの豊かな成長や、将来の米原市の担い手となる子どもを育てるため、地域と学校が連携し、社会全体で子どもを育てるコミュニティスクールの推進や、市民の生涯学習と交流の推進を図り、学びを通じて多様な主体がつながる場「学びあいステーション」を設置し、学校・家庭・地域のつながりを大切にしながら、子どもから大人まで全ての市民が生涯にわたって学び合い、育ちあうまちづくりを進めている。</li> <li>●大きな社会の変化の中で、米原の魅力ある地域資源を最大限に生かし、市民等との協働をより深めながら、学校教育、社会教育という枠組みを超えて、子どもから大人まで誰もが豊かに学び合い、育ちあい、交流する、学校・家庭・地域が手を携え「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」を実現していくため、前期の理念を継承する。</li> </ul>

1 教育政策の基本理念（つづき）

現 行	次期（素案）	理由
<p>全国的に少子高齢化と人口減少が進む中、本市においても厳しい状況が続くことが予想されています。米原市が将来にわたって活力と魅力を維持していくためには、子育て世代に選ばれる環境づくりと、将来のまちを支える若い力の育成が不可欠です。次代を担う人を育てる教育政策は、ますますその重要性を増しています。</p> <p>また、学校・家庭・地域のつながりを大切にし、子どもから大人まで全ての市民が生涯にわたって学び合い育ち合うまちづくりを目指すことは、本市の教育政策を貫く理念として常に意識され、重視されるものでなくてはなりません。</p> <p>「ともに学び、ともに育つ」という表現には、就学前からつながりのある学びの環境が整い、学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むとともに、ふるさとを愛し誇りに思う子どもを育てようとする思いが込められています。</p> <p>「ともに」とは「共に」であり、「友に」でもあります。そして、生涯を通じて、いつでも、どこでも誰でも学ぶことができる環境と、学びの成果を地域に還元できる学び合いのまちづくりを進めるとともに、スポーツ・文化・芸術の振興を図り、お互いを認め合いながら人権を大切にし、多様な主体が共生できるまちづくりを進めることを「学び合いのまち」という言葉に込めています。</p> <p>さらに、本市の教育が目指す人間像を示すものとして、「自分もひと大切にし、地域を誇る人づくり」を掲げます。学校・家庭・地域がつながり一体となって、自然と歴史・文化に包まれた米原ならではの教育環境の中で学び合い、育ち合うことによって、自己を大切にし、かけがえのない存在として実感できる自尊感情・自己肯定感を育成するとともに、互いを認め合い、支え合う確かな関係を育てます（自分もひと大切に）。そして、ふるさと米原に誇りと愛着を持ち、ともに力を合わせながら、未来の米原を切り拓く（地域を誇る）人づくりを推進します。</p>	<p>人生 100 年時代と言われるいま、幅広い世代の市民が交流し、つながりながら、学びあい、育ちあう、米原らしいまちづくりを継承し、「ともに学び ともに育つ 学び合いのまち まいばら」の実現を目指します。</p> <p>「ともに学び、ともに育つ」という表現には、就学前からつながりのある学びの環境を整え、学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むとともに、ふるさとを愛し誇りに思う子どもたちを育てていくという思いを、また「ともに」は、「共に」、「友に」の意味を含め、「学び合いのまち」には、市民一人一人が豊かな人生を歩むため、生涯にわたって、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる環境と、学びの成果を地域に生かせるまちづくりを進めるという思いを込めています。</p> <p>さらに、本市の教育が目指す人間像として、「自分もひと大切にし、地域を誇る人づくり」を掲げ、自己を大切にし、かけがえのない存在として実感できる自尊感情・自己肯定感を育成するとともに、互いを認め合い、支え合う確かな関係を育てます（自分もひと大切に）。そして、ふるさと米原に誇りと愛着を持ち、ともに力を合わせながら、未来の米原を切り拓く（地域を誇る）人づくりを推進します。</p>	<p>人生 100 年時代を踏まえて、子どもから大人までの幅広い世代が、自ら学ぶとともに、交流しながら学びあうことで、人が育ちあうまちを目指します。</p> <p>長い人生の中で、学校卒業後の学び、生涯学習期間を有益に過ごすことができる環境や、学びの成果を発揮、実現できる環境づくりを進めます。</p>

2 教育政策の基本目標

基本目標	現 行	次期（案）	理由
1	<p><b>心豊かでたくましく生きる力を育む教育を実現します</b></p> <p>就学前教育・保育と学校教育は、社会的に自立していくための基盤となる力を形成する場として重要となります。変化の激しい社会において、将来にわたって子どもたちが夢を持ち、自ら学び考え、目標に向かってたくましく生きていくことができるよう、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育てます。本市の自然、歴史・文化などの資源を生かし、「米原っ子に生きる力を」をテーマに米原らしい特色のある教育の推進を図ります。</p>	<p><b>心豊かでたくましく <u>しなやかに</u>生きる力を育む教育を実現します</b></p> <p>就学前教育・保育と学校教育は、社会的に自立していくための基盤となる力を形成する場として重要であり、将来にわたって子どもたちが夢を持ち、自ら学び考え、目標に向かってたくましく生きていくことができるよう、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育てます。また、<u>変化の激しい社会に対応でき、しなやかさを備える力を育成します。</u>（①）本市の自然、歴史・文化などの資源を生かし、<u>知・徳・体の調和のとれた米原っ子の育成を目指し、次代の米原を担う</u>（②）米原らしい教育の推進を図ります。</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会は大きく変化し、また、情報化社会の中、今後も社会は大きく変化していくことから、たくましさだけではなく、困難な場面でも倒れない、しなやかさを加える。</p> <p>②自然、歴史・文化などの資源を活用した教科横断的な学びを推進することで、次代の米原を担う子どもの姿を記載</p>
2	<p><b>学校・家庭・地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高めます</b></p> <p>近年、家庭の教育力や地域のつながりが低下しているという声が多くなっています。地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流や自然体験が減少する中、学校・家庭・地域の双方向のつながりと協働によって、子どもたちの豊かな成長を支えることが求められています。家庭での教育が、学校園での学びを支える力となり、地域みんなで力を合わせて子どもの未来を応援していくため、学校・家庭・地域の連携を強化し、つながり合いながら、まち全体の教育力を高めます。</p>	<p><b>学校・家庭・地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高め、<u>ふるさとを愛する人を育てます</u></b></p> <p><u>家庭教育は全ての教育の出発点という認識を持ち、家庭の教育力を高め家族を大切にすることを育てます。</u>（①）</p> <p>家庭での教育が、学校園での学びを支える力となり、<u>地域の特色ある素材を活用し、地域の人々と学校が一体となって、様々な学びの体験や実践を通して、子どもたちの人に感謝する心、ふるさとを愛する心を育みます。</u>（②）</p> <p><u>さらに、ふるさとに夢と志を持ち、行動する人を育てます。</u>（③）</p>	<p>●前段の課題部分については、基本目標から削除し、分かりやすい文章にした。</p> <p>①教職員アンケート・保育施設アンケートにおいて、家庭の教育力の低下が課題であるとの結果が出ているため。</p> <p>②家庭・地域が一体的に子どもたちの育ちに関わる機会の充実がさらに求められるため。また、地域の人材や素材の活用が子どもの成長やふるさとを愛する心を育てることにつながるため。</p> <p>③さらに、ふるさとを愛する人が、自ら志を持って、ふるさとに貢献しようとする人を育てる教育を進めるため。</p>

米原市教育振興基本計画 第3章教育政策の基本的な考え方（教育大綱素案） 新旧対照表

基本目標	現 行	次期（案）	理由
3	<p><b>一人一人が大切にされ、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくりま</b></p> <p>大きく社会が変わりつつある今日こそ多様性を尊重した教育を推進することが大切になってきており、一人一人のニーズに応える支援を充実させ、誰もが自分の可能性を伸ばせる環境づくりが求められています。いじめの防止や不登校への対応を含め、関係機関の連携の下、相談・支援体制を整備するとともに、誰もが安全・安心で、質の高い教育が受けられるよう、教育環境を整備します。また、子どもたちの学習意欲を高められるよう、指導を担う教職員の資質の向上にも取り組みます。</p>	<p><b>一人一人が大切にされ、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくりま</b></p> <p><u>いじめの防止や多様性を尊重した教育を推進するため、子どもとその家庭に寄り添う（②）相談・支援体制を整備するとともに、一人一人の個性に応じたきめ細やかな支援を充実し、（③）安全・安心で、質の高い教育が受けられるよう、教育環境を整備します。</u></p> <p><u>また、情報化の進展に伴う ICT 機器などを活用した学習活動の充実を進めるとともに、教職員が子どもたち一人一人と向きあえる環境づくり（④）や指導力の向上に取り組み、子どもたちの学ぶ意欲を高め、深い学びにつなげます。</u></p>	<p>●前段の課題部分については、基本目標から削除し、分かりやすい文章にした。</p> <p>②・③一人一人の個性に応じた教育の推進（貧困、不登校、ひきこもり、障がい、性的マイノリティなどに関する教育支援）が必要なため、SDGs の考え方を踏まえることが必要なため。</p> <p>④ICT 機器の活用が深い学びにつながるため。中学生アンケート結果では、分かりやすい授業が求めているとあり、実現には先生が一人一人と向き合うことや、指導力の向上が必要であるため。</p>
4	<p><b>生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくりま</b></p> <p>変化の激しい現代社会において、生活に必要な知識や技能の習得、生きがいや自己実現の方法として多様な学習機会が求められています。生涯学習は、単なる知識・技術の修得にとどまらず、多様な学びや成長が生きがいを育み、人生を豊かにするものとなります。また、学んだことを地域での活動に生かすことや、学習活動を通じた新しい人のつながりが、地域の活性化や教育力の向上をもたらすことも期待されます。互いを認め合う確かな人権文化の確立とともに、市民の自主的な活動と連携しつつ、誰もが参加しやすい生涯学習の機会を創出します。また、競技スポーツや生涯スポーツ、野外遊び、健康づくりなどの各種の活動の充実を図り、人と人、地域と地域がつながる「スポーツコミュニティまいばら」の実現を目指します。</p>	<p><b>生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動が続けられる環境をつくりま</b></p> <p><u>文化や芸術、スポーツなどの生涯学習を通じて学び合う中で得た成果を地域や学校などに生かしていく機会を創出し、生涯にわたり豊かな人生を送ることができる環境づくりを進めます。さらに、市民一人一人が多様性を認めあう社会づくりを進めます。（①）</u></p> <p><u>また、スポーツや健康づくりなどの活動の充実を図り、スポーツの力で市民の一体感を醸成し、人と人、地域と地域がつながるまちの実現を目指します。（②）</u></p>	<p>人生 100 年時代に向けて、学び続けられる環境づくりが求められるため</p> <p>●前段の課題部分については、基本目標から削除し、分かりやすい文章にした。</p> <p>①学んだ成果を生かすことにより、さらに学ぶ意欲がわき、学びの継続につながる。</p> <p>②スポーツ振興や健康長寿を踏まえた米原の目指すまちを具体的に記載</p>

米原市教育振興基本計画 第3章教育政策の基本的な考え方（教育大綱素案） 新旧対照表

基本目標	現 行	次期（案）	理由
5	<p><b>米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます</b></p> <p>本市は、自然豊かで歴史・伝統文化が息づくまちであり、それらを身近に感じられることが、子どもが育つ上でも、また地域への愛着を育む上でも重要な要素となります。</p> <p>自然環境保全の意識向上、文化・芸術活動の振興、歴史・伝統文化の保存や活用を進めるとともに、市民自身がその担い手となれるよう、地域での活動を支援します。誰もが自然・歴史・文化に親しむことのできる機会を充実させ、地域文化を育んでいく環境づくりを進めます。</p>	<p><b>米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます</b></p> <p>伊吹山登山、農業体験など地域資源を活用した様々な活動を通じて、自然環境保全への意識向上を図ります。市民の芸術作品の発表や鑑賞の機会の提供などにより、文化芸術の振興を図ります。また、市の宝物である歴史文化遺産を発掘し、磨きを掛けながら活用していくことにより地域の活性化につなげるとともに(①)、市民の郷土への愛着と誇りを育て、(②)市民自身がその担い手となれるよう、地域での活動を支援します。</p> <p>誰もが自然・歴史・文化に親しみ学ぶ機会の充実を図り、地域文化を育んでいく環境づくりを進めます。</p>	<p>●前段の課題部分については、基本目標から削除し、分かりやすい文章にした。</p> <p>①具体的な活動を挙げるなどイメージしやすい文章にした。</p> <p>②郷土を愛する心の醸成、育成が地域への関わりの強化等につながり、地域の教育力向上につながるため。</p>